

# 日港労連・港荷労協 23 春闘

## 速報第1号

(発行元) 日本港湾労働組合連合会書記局・港湾荷役事業関係労働組合協議会事務局  
住所 144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港福 3 階 電話 03-3732-5503 (発行人 岡部 正浩)

### 2/15 第1回港荷労使交渉開催！ 物価高騰をものとししない大幅賃上げを求める！

1. 第1回中央港湾団交終了後に開催した、第1回港荷交渉を2月15日14:30より東京芝浦サービスセンター会議室に於いて、新型コロナウイルス感染予防対策（リモート含む）を図り、開催した。
2. 冒頭、鶴岡議長より港荷経協議長退任の表明が行われ、安原議長代行が、その後任にあたる旨、報告が行われた。
3. 続いて、事務局長より要求趣旨説明を行った後、竹内議長より中央団交経過と要求の考え方について次の表明が行われた。
  - (1) 物価高騰と言われているが、それをものとししない大幅賃上げが肝要と強調。産別22春闘仮協定で所謂政府施策について23春闘に於いても継続していくと明記していることから、船社・荷主を踏まえ元請も含めて適正な下払いを行い、大幅賃上げとしていくことは、当然のことと主張した。
  - (2) 労側は、政府施策については、国交省に対し、本年についても昨年と同様の措置を取るよう取り組んでいる。国交省は、質問書が来た場合には何等かの対応はすると回答であったことから、労側は質問書を提出した。しかし、日港協は未だ取り組んでいないことから第1回中央団交で取り組むよう要請した。このことの報告を行った。つまり労側は大幅賃上げに向けた取り組みを既に講じている旨、重ねて報告した。
  - (3) その上で23港荷春闘は円満解決できるよう労使一体となって解決すべきと訴えた。
3. これに対し業側は、22春闘は労側の尽力により所謂政府施策に基づき下払い料金交渉ができたことについて感謝している。ついては引き続き労使一体で進めていきたい旨、表明があった。よって、本日は、趣旨説明を受けたので検討して行きたいと併せて表明があった。
4. この表明に対し、労側も労使一体で、且つ円満解決を目指して行く旨、約した。
5. 次回、第2回港荷交渉3月14日(火)14:00より神戸ポートオアシスにて開催することを確認し、第1回交渉を終了した。

以上